

## 藤井寺市（大阪府）

### < 取組の概要 >

市福祉部局では、災害時要援護者としての支援希望者からの申請をもとに、災害時要援護者情報の台帳を作成。市防災部局や消防本部において共有。

#### 1. 取組開始の経緯

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大阪府から安否確認の取組み実施にかかる依頼があり、モデル的に取り組みはじめ、平成13年9月から運用開始している。

#### 2. 取組主体の構成

市（福祉課、高齢介護課、防災対策室） 各自治区

#### 3. 避難支援の取組状況

##### （1）災害時要援護者情報の把握方法

災害時の支援を希望する方々の手上げ方式（申請書の提出）による登録制度となっている。申請書には、情報開示に関する同意や氏名、年齢、性別、住所、電話番号、緊急時の連絡先、申請理由（身体状況など）、申請区分（要介護度など）が記載されている。

当該制度の周知に関しては、日頃から民生委員や児童委員が啓発活動を実施している。

対象者としては、市内在住で自力避難が困難と予想される障害者または65歳以上の高齢者のうち、以下の条件に該当する者となっている。

##### 〔障害者〕

身体障害者手帳を有する者のうち、障害の程度が1級及び2級の者（970人）

療育手帳を有する者のうち、障害の程度がAの者（278人）

精神障害者福祉手帳を有する者のうち、障害の程度が1級の者（48人）

ただし、上記以外の障害程度でも、自力での避難に不安を感じている者は登録可能。

##### 〔65歳以上高齢者〕

介護保険制度に基づく要介護度が3，4，5の者（764人）

ただし、上記以外の高齢者でも、自力での避難に不安を感じている者（例：独り暮らしの者）は登録可能。

該当者の人数は平成16年5月末現在の延べ人数。複数の項目に該当する場合がある。台帳に関しては、年2回更新されており、平成16年9月現在、548名が登録されている。

(2) 避難支援者の定め方等

予め避難支援者を定めているものではなく、発災時に区長の指示により決定。

(3) 災害時要援護者情報の共有方法

市福祉課が、申請書をもとに台帳を作成し、市防災対策課や消防本部と情報を共有している。

市福祉課が、簡易版（登録者の氏名、性別、年齢、連絡先、住所が記載されている）と詳細版（申請書の内容が記載されている）の2つの名簿を作成し、各区長へ配布している。

簡易版名簿については、平時から区長だけは閲覧することが可能であり、この名簿をもとに地域では、安否確認訓練が実施されている。

詳細版名簿は、平常時はスチール保管庫に保管され、発災時のみ取り出される（鍵は区長が管理）。安否確認本部に参集した役員、民生・児童委員等への指示に使用される。また、災害時要援護者の住まいを示した地図も作成している。

4. 運営上の役割分担

(1) 市〔福祉部局〕

登録制により名簿を整理し、各自治区に配布。

(2) 市〔防災部局〕

発災時、安否確認実施本部を各自治会に立ち上げるよう依頼、安否情報を把握。

(3) 自治区〔区長〕

平常時の訪問や、発災時の名簿の活用など。

5. 訓練の実施状況

毎年9月に、安否確認訓練を実施している。安否確認の流れとしては、概ね以下のとおりである。

市が災害対策本部を設置

市内40箇所にある屋外防災行政無線を使用し、区長に安否確認実施本部の設置を依頼

自治区が安否確認実施本部を設置し、保管庫より詳細版名簿を取り出したうえ、安否確認を開始する。

(この際、誰がどこへ安否確認に行くかを区長が割り当てる。)

安否確認の実施の際、安否確認実施者は、割り当てられた対象者の情報しか与えられない。

安否確認の結果は、安否確認実施本部に集約され、最終的に市の災害対策本部へ送られる。

#### 6．今後の課題等

障害の部位や程度などに応じた救出救護活動が課題である。

発災した場合に、安否確認体制がうまく機能するか。（詳細版名簿は、発災した際に区長が開封し、その時点で安否確認実施者を決定するため、混乱も予想される。）

プライバシー保護の観点から、平時は台帳の情報を区長限りとしており、いざというときに活用できるかが不安である。

# 災害時における要支援者登録申請書

受付印

藤井寺市長 井 関 和 彦 殿

本人又は保護（介護）者

住 所 藤井寺市

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

藤井寺市において大きな災害が発生した時には、私共の安否確認や災害情報などの提供をいただくため、下記事項の登録を申請いたします。

なお、登録した個人情報、住民基本台帳及び外国人登録との照合を承諾するとともに、災害に備えて事前に柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部及び地区区長に提供し、防災訓練のほか、災害時の安否確認などに活用されることに同意いたします。

## 記

項 目	届 け 出 る 事 項		
①安否確認を 必要とする本人の氏 名	ふりがな _____ _____	性 別 男・女	
② " 生年月日	明・大・昭・平	年 月 日	( 歳)
③ " 住 所	藤井寺市		
④ " 電話番号等	電話 _____	FAX _____	

⑤第1次 緊急時の連絡先の氏 名	ふりがな _____ _____	本人との続柄	
⑥ " 住 所			
⑦ " 電話番号等	電話 _____	FAX _____	

(注) なるべく同居以外の方をご記入ください。

⑧第2次 緊急時の連絡先の氏 名	ふりがな _____ _____	本人との続柄	
⑨ " 住 所			
⑩ " 電話番号等	電話 _____	FAX _____	

申請理由等	支援活動を円滑に進めるための参考に、身体の状態等を記入してください。例えば、「手足が不自由なため外出できない」など。

安否確認対象者見出し(地区、住所、番地、号順)

平成16年12月8日  
33/47ページ

古室

古室3丁目

NO	本人氏名	ふりがな	性別	年齢	電話	住 所	備 考

安否確認該当者名簿（地区、住所、番地、号順）

平成16年12月8日  
107/155ページ

古室

古室3丁目

NO	申請区分	本人氏名	住所等			氏名	第1次緊急連絡先			氏名	第2次緊急連絡先			住所等	
			住所等	住所等	住所等		住所等	住所等	住所等		住所等	住所等			
265	要介護1 障害1級	性別 年齢	電話	続柄	住所等	続柄	電話	住所等	続柄	電話	住所等	続柄	電話	住所等	
			携帯		59-1234		携帯			携帯			携帯		
			FAX				FAX			FAX			FAX		
申請理由等 足腰の痛みがあるので一人では外出しにくい															
52	要介護2 障害2級	性別 年齢	電話	続柄	住所等	続柄 長女	電話	住所等	続柄	電話	住所等	続柄	電話	住所等	
			携帯				携帯			携帯			携帯		
			FAX				FAX			FAX			FAX		
申請理由等 手足が不自由なため、外出できない。															
	申請区分	本人氏名	電話	続柄	住所等	続柄	電話	住所等	続柄	電話	住所等	続柄	電話	住所等	
			携帯				携帯			携帯			携帯		
			FAX				FAX			FAX			FAX		
申請理由等															
	申請区分	本人氏名	電話	続柄	住所等	続柄	電話	住所等	続柄	電話	住所等	続柄	電話	住所等	
			携帯				携帯			携帯			携帯		
			FAX				FAX			FAX			FAX		
申請理由等															